

長久手市立地適正化計画策定のためのワークショップ “これからも過ごしたいまち、訪れたいまち”について 考えてみませんか？

長久手市では、将来の人口減少・高齢化を見据え、コンパクト+ネットワーク※なまちづくりを進めるために「長久手市立地適正化計画」の策定を進めています。

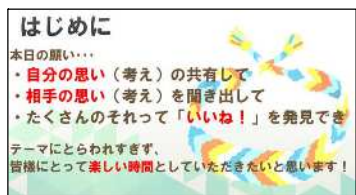
7月8日(土)、南小校区共生ステーションにて、“これからも過ごしたいまち、訪れたいまち”について考えるワークショップを開催しました。当日は飛び入り参加の方も含め、総勢19名に参加いただき、とても活発なワークショップとなりました！

※医療・福祉施設、商業施設等や住居がまとまって立地し、様々な世代の住民が公共交通・徒歩等により容易にアクセスできるまちづくりの考え方

1 はじめに

リリモ杵ヶ池公園駅周辺地区の魅力向上に向けて、ワークショップの位置付けや地区の現状について説明がありました。

また、本日の願いとして「テーマにとらわれすぎず楽しい時間としてほしい」と話がありました。



2 地区の将来について

「過ごしたくなる、訪れたいくなる」といったキーワードから、現在、20年後の自分が「どのような過ごし方だったか」、「どのようなまちにしていきたいか」を考え、まちの将来像を自由に妄想し、話し合いました。

A グループの主な意見

●現在

- ・杵ヶ池公園で水を使ったアクティビティ、スポーツがしてみたい
- ・杵ヶ池公園でオシャレなマルシェに参加したい
- ・杵ヶ池公園駅周辺でイベントがしたい
- ・生活するのに便利なまち
- ・ジョギングが楽しめるまち
- ・移動図書館があるまち

●20年後の未来

- ・家族とせせらぎの径を散歩したい
- ・杵ヶ池の水上で観劇がしたい(文化の家と連携)
- ・杵ヶ池公園でアート、ネイチャーイベントに参加したい

ジブリパークが出来たことだし、ジブリっぽいコイのぼりを杵ヶ池であげたいな

世界から注目されるような取組がしたい！何か出来ることはあるかな

香流川沿いのネイチャーイベントに子どもと参加してみたいな



第1回 Newsletter

発行：長久手市役所都市計画課

TEL：0561-56-0622

E-mail：keikaku@nagakute.aichi.jp

B グループの主な意見

●現在

- ・杵ヶ池のほとり、チェアリング、飲食をして過ごしたい
- ・杵ヶ池公園で孫と魚取り、虫取り、水あそびをしたい
- ・杵ヶ池体育館のジムを使いたい
- ・カフェで道行く人をながめて過ごしていたい

●20年後の未来

- ・歩道をきれいに、気持ち良く散歩したい
- ・公園で太極拳をして健康づくり
- ・スケートパークがあれば、コミュニティが出来て良い
- ・そこに行けば誰かに会える場所

くすのき広場の花壇にフジバカマを植えてアサギマダラを呼びこもうよ！

車に乗らなくても楽しめるまちにしていきたいな



杵ヶ池公園でマルシェ、アートのイベントを楽しみたい！

C グループの主な意見

●現在

- ・顔ハメパネル、トリックアートを作ってまちに置いてみたい
- ・どろんこ広場やザリガニ釣りなど子どもが遊べる場所を作りたい
- ・杵ヶ池公園にモバイル屋台を出したい
- ・公園で飲(呑)みたい、食べたい
- ・気軽にアウトドアを楽しめる公園にしたい

杵ヶ池公園でコイのぼりをあげてるからみんなも一緒にやろう！

杵ヶ池公園周辺で期間限定のオープンガーデンが出来ないかな？

公園にある自然のものをを使った親子で楽しめる工作教室を開きたい！



●20年後の未来

- ・杵ヶ池体育館で筋トレがしたい
- ・杵ヶ池の水源、ヒシの駆除、ヘド口対策ができれば良い

3 まとめ

各グループの発表後、吉村先生（日本福祉大学教授）から、総括をいただきました。

自分のライフスタイルや家族のことを思い浮かべて どのような過ごし方だったか、具体的なアイデアが多く、第2回につながる場となりました。また、「何がしたいか」の次には「自分たちで何ができるか」を考えるステップがあります。実際に自分たちで活動することは、大変ですが、参加するより何倍も楽しく充実感のあるものです。このワークショップがきっかけになり、これから、知り合ったみなさんの手で具体的な活動が生まれ、広がっていくことを期待しています。



吉村 輝彦 先生

次回 “過ごしたくなる、訪れたいくなるまち” とするには何ができる？何がしたい？

8月11日(金・祝)
10:00～
南小校区共生ステーション

右QRコード、都市計画課窓口または電話からお申込下さい。
当日参加も可能です。家族・友人をお誘いの上、ふるってご参加下さい！



めずらしくて美味しいお菓子をを用意してお待ちしています～

長久手市立地適正化計画策定のためのワークショップ “これからも過ごしたいまち、訪れたいまち”について 考えてみませんか？

長久手市では、将来の人口減少・高齢化を見据え、コンパクト+ネットワーク※なまちづくりを進めるために「長久手市立地適正化計画」の策定を進めています。

8月11日、南小校区共生ステーションにて、第2回“これからも過ごしたいまち、訪れたいまち”について考えるワークショップを開催しました。当日は総勢18名に参加いただき、活発なワークショップとなりました！

※医療・福祉施設、商業施設等や住居がまとまって立地し、様々な世代の住民が公共交通・徒歩等により容易にアクセスできるまちづくりの考え方

1 前回のふりかえり

ニュースレターを使い、前回ワークショップのふりかえりをしました。「どのような過ごし方がしたいか」、「どのようなまちにしていきたいか」に対する意見を紹介し、第2回のワークショップではその実現に向け、「自分たちで何が出来るか」を話し合っていたくことを説明しました。



2 講演 「これからも過ごしたいまち、訪れたいまち～公園を起点に～」

講師の吉村先生(日本福祉大学教授)に過ごしたくなるまちなかの形成についてご講演をいただきました。公共空間は「イベント(=非日常)」だけでなく、「居場所(=日常)」として使いこなせるように、取組を進める必要があることについて説明がありました。市民が公園や駅前空間を実験的に使っていく取組について事例を紹介していただきました。



3 地区の将来について

第1回ワークショップで考えた「自分のしたい過ごし方」の実現のために、自分たちで何が出来るか、何がしたいかを話し合いました。

1 グループの主な意見

- ・家康、秀吉や、ゆばーばのコスプレイヤーとパレード、知り合いのプロデューサーに頼む
- ・公園の壁に的をおいて、自然の木、水でゴム・水てっぽう遊びができるように！
- ・「グリーンロードAction」高木の植栽手伝い、グリーンロードをグリーンロードにする
- ・もちつき、弘法様、お月見ドロボウ等、伝統行事の体験
- ・芝生広場で絵を描きたい人たちと写生会 ex.油絵、デッサン、水彩
- ・チェキ会をやる
- ・香流川で①香流川沿いの生き物の案内 ②草刈り

池干して、池に生き物が住めるようにしよう
「杓ヶ池公園Action」！



ソーシャルカフェがしたい
な。県芸、県大とか市内の大学をまき込んじゃおう



せせらぎの径でアート展示をしよう！
自分で作ったものも置いてみたいな

第2回 Newsletter

発行：長久手市役所都市計画課

TEL：0561-56-0622

E-mail：keikaku@nagakute.aichi.jp

未定稿

2 グループの主な意見

- ・NEXPO（長久手・万博継承会）のノウハウを活用
- ・モノ集め（こいのぼり）→チラシ600枚
- ・杓ヶ池でもクリスマスイベントを！
- ・小学校イベントの灯籠
- ・ゴミ清掃など、環境を整えることもセットで考えるべき
- ・まずは興味を持ってもらうことが大事
- ・100人集めて杓ヶ池をきれいにする「杓ヶ池100人プロジェクト」
- ・ヒシモリデューズ、リユース、リサイクル！

他の地区でやってるイルミネーションを活用したらどうかな？

僕たちと一緒に杓ヶ池にイルミネーションを飾りましょう！



『ひし勉強会』を開催して杓ヶ池のファンを増やすぞ～



クラウドファンディングで池の掃除ができないかな？

3 グループの主な意見

- ・水上映画ショーin杓ヶ池
- ・公園で映画鑑賞会（自分たちで場を整える）
- ・モバイル屋台でマーケット、売りたいものをお店『紙しばい、移動絵本、ようかいポスト（本の交換）、うらない、紙しばい、話き屋、物だけでなく、コト、体験 etc...』
- ・何が出来るか知られてない・・・ハードル高い？
⇒物を売るのは誰でも行政許可を取ればOK！
- ・杓ヶ池をつかいたおすチームをつくる
- ・各々が食べ物、飲みものを持ち寄って、芝コン
- ・ランタン、LEDを持ち寄ってイルミネーションつばく

「杓ヶ池ラブストーリー」が生まれるようにイルミネーションでデートスポットにしよう！

公園の伐木を自分たちで集めて工作教室をやろう！掃除にもなるよね

誰でも使えるモバイル屋台を公園に置いてみよう！木材で作れるよ



4 まとめ 各グループの発表後、吉村先生から、総括をいただきました。

本日のみなさんの話の中に「〇〇がしたい！」という意見が多く挙がっていました。ぜひ、やっていただきたいと思います。長久手には杓ヶ池公園等、活用できる空間があり、恵まれた環境なので、実験的にでも良いので、とりあえずやってみることが大事だと思います。次回も引き続きよろしくお願いします。



吉村 輝彦 先生
(日本福祉大学)

今回のワークショップでいただいた意見について

本日頂いたご意見は第1回と同様、ニュースレターを作成し、参加者のみなさまに送付させていただきます。また、立地適正化計画策定(今年度策定予定)にあたり、今回のワークショップでいただいたご意見を参考に誘導施策等を定めていくこととなります。長久手市立地適正化計画の内容については、〇〇月に実施予定のパブリックコメントで、ご意見をいただければと思います。

長久手市立地適正化計画策定のためのワークショップ “あえて歩いてみたくなるまち”について考えてみませんか？

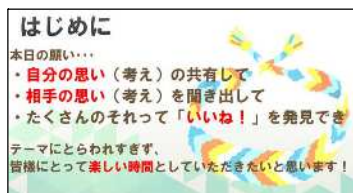
長久手市では、将来の人口減少・高齢化を見据え、コンパクト+ネットワーク※なまちづくりを進めるために「長久手市立地適正化計画」の策定を進めています。

6月17日、西小校区共生ステーションにて、“あえて歩いてみたくなるまち”について考えるワークショップを開催しました。当日は飛び入り参加の方も含め、総勢20名に参加いただき、とても活発なワークショップとなりました！ ※医療・福祉施設、商業施設等や住居がまとまって立地し、様々な世代の住民が公共交通・徒歩等により容易にアクセスできるまちづくりの考え方

1 はじめに

長久手市が目指す“あえて歩いてみたくなるまち”について、ワークショップの位置付け、市街地の整備経緯等の説明がありました。

また、本日の願いとして「テーマにとらわれすぎず楽しい時間としてほしい」と話がありました。



2 地区の将来について

「住みやすい、歩いてくらせる、あえて歩いてみたくなる」といったキーワードから、現在、20年後の自分が「どのような暮らし方がしたいか」、「どのようなまちにしていきたいか」を考え、まちの将来像を自由に妄想し、話し合いました。

A グループの主な意見

●現在

- ・交流・コミュニティがあるまち
- ・子どもが安全に遊べる優しいまち
- ・緑があるまち
- ・外で体を動かす、お出かけの機会
- ・学べるまち
- ・楽器・アカペラの練習ができるまち
- ・移動が便利なまち
- ・NO車DAYがあるまち

●20年後の未来

- ・交流・コミュニティを大切に人・まち
- ・ご近所・趣味の仲間とつながりたい
- ・安全、平和なまち
- ・美しいまちなみ・歩きたくなる景観
- ・車がなくても生活できるまち
- ・大きな本屋があるまち

子育て中なので、子どもがきっかけでつながりが増えるとうれしいな

NO車DAYを作ってみてまちを歩いているのはどう？

勉強や趣味で気軽に利用できる場所があるといいよね



第1回 Newsletter

発行：長久手市役所都市計画課

TEL：0561-56-0622

E-mail：keikaku@nagakute.aichi.jp

B グループの主な意見

●現在

- ・勉強や趣味を楽しめるまち
- ・交通安全・安心なまち
- ・子どもがのびのびと遊べる公園・場所
- ・大切なものをリサイクル
- ・公共サービスが充実したまち
- ・やっぱり渋滞の解消・施設の更新は必要

●20年後の未来

- ・裸足で遊べる場所
- ・本を楽しめるまち
- ・にぎやかな商店街
- ・移動しやすいまち
- ・緑・農業を楽しめるまち
- ・多世代交流ができるまち

地域のみんなで道具をシェアできれば便利だね

廃材を使って工作ができればおもしろそうじゃない？

自分の興味のあることを勉強できる場がほしいな



子どもと一緒に裸足で遊べるような場所があればいいな



C グループの主な意見

●現在

- ・散歩・ランニングを楽しむまち
- ・グリーンロード・緑でつながるまち
- ・パパ友コミュニティ
- ・飲食・アミューズメントを楽しむまち
- ・仕事帰りに一杯できるまち
- ・アウトドアを楽しむまち

●20年後の未来

- ・趣味など、住民が活躍できるまち
- ・災害に対し、安全・安心なまち
- ・ロケ地など、ジブリ作品を活かしたまち
- ・生き物と共生できるまち
- ・サードプレイスがあるまち

まちに緑が多いと歩いてみたくなるよね

最近はまってるランニングをもっと楽しみたい

パパ友の集まりがあったら参加してみたい！



3 まとめ

各グループの発表後、吉村先生（日本福祉大学教授）から、総括をいただきました。

自分のライフスタイルや家族のことを思い浮かべて どのような暮らしがしたいか、具体的なアイデアが多く、第2回につながる場となりました。現状の課題からではなく、自分のしたいくらしをスタートに、その実現に向けてポジティブに考えることがとても大事だと思います。

このワークショップが市民主体のまちづくりのきっかけになり、これから具体的な活動へと広がっていくことを期待しています。



吉村 輝彦 先生

次回 “あえて歩いてみたくなるまち” とするには何ができる？何がしたい？

7月29日(土)
10:00～
西小校区共生ステーション

右QRコード、都市計画課窓口または電話からお申込下さい。
当日参加も可能です。家族・友人をお誘いの上、ふるってご参加下さい！



めずらしくて美味しいお菓子をを用意してお待ちしています～

長久手市立地適正化計画策定のためのワークショップ “あえて歩いてみたくなるまち”について考えてみませんか？

長久手市では、将来の人口減少・高齢化を見据え、コンパクト＋ネットワーク※なまちづくりを進めるために「長久手市立地適正化計画」の策定を進めています。

7月29日、西小校区共生ステーションにて、第2回“あえて歩いてみたくなるまち”について考えるワークショップを開催しました。当日は総勢11名に参加いただき、活発なワークショップとなりました！

※医療・福祉施設、商業施設等や住居がまとまって立地し、様々な世代の住民が公共交通・徒歩等により容易にアクセスできるまちづくりの考え方

1 前回のふりかえり

ニュースレターを使い、前回ワークショップのふりかえりをしました。「どのような暮らし方がしたいか」、「どのようなまちにしていきたいか」で出た意見を紹介し、第2回のワークショップではその実現に向け、「自分たちで何が出来るか」を話し合っていたくことを説明しました。



2 講演 「居心地がよく、歩いて暮らせるまちに向けて～ビジョンにみるこれから～」

講師の吉村先生(日本福祉大学教授)に居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成についてご講演をいただきました。これからのまちには空間やスペースの整備だけでなく、人々の居場所づくりが求められていることや、まちを使いこなすイメージ図を使用したまちづくりビジョンの事例を紹介していただきました。



3 地区の将来について

第1回で考えた「自分のしたい暮らし」の実現のために、今の内に自分たちで何ができるか、何がしたいかを話し合いました。

1 グループの主な意見

●現在

- ・同じ境遇、趣味の人がつながる
- ・いろんな人が集まってつながる
- ・同じぐらいの子どもがいる人と情報交換がしたい
- ・弘法さん、お月見どろぼうなどイベントでの交流
- ・玄関先が見られるようになると高齢者と関わりやすい
- ・桜ヶ根公園でお友達と鬼ごっこがしたい
- ・誰でも行けるおばあちゃんの家、子どもと高齢者が交流できる古民家
- ・住民意識高揚
- ・他の共生ステーションでも委員会を立ち上げると取組みが展開できる
- ・直島アートみたいに音楽を聴いて回れる

料理好きで集まって、作った料理をシェアする企画をしてみたい。味噌、米こうじ、梅干しとか良さそうじゃない？

はなみずき通広場で音楽やっている人を集めてフェスがしたいな



共生ステーションで困ってる人の相談に乗ったり、情報提供ができるんじゃない？

第2回 Newsletter

発行：長久手市役所都市計画課

TEL：0561-56-0622

E-mail：keikaku@nagakute.aichi.jp

2 グループの主な意見

●現在

- ・小学生の登下校の見守り活動、ごみひろいを続けていきたい
- ・1人でも継続できるボランティア活動の方法・ルールを考えたい
- ・ルールに縛られず、自由な街づくりがしたい
- ・地域の人が愛着を持てるようなみんなで考えてつくる公園
- ・香流川での楽器練習
- ・やりたいことある人と教えたい人をつなぎたい
- ・それぞれの目線でまちに欲しいことを具体的に考えられる
- ・マルシェに参加したいけど、やり方が分かんない！

今、共生ステーションでフジバカマを植える活動をやってるよ～

これから柔軟にボランティア活動をしていきたいな



これから、まちのことを考える場にもっと参加する！！



3 グループの主な意見

●現在

- ・愛知県の健康アプリを活用する
- ・スポーツを教えあえたらいいな
- ・色々な「得意」を持った人が披露するイベント
- ・香流川ウォークラリー、四季の彩り、生物観察、植物観察
- ・夏は暑いから、水あそび、川あそびが出来るといい
- ・商店街にランニングの給水ポイントを設置
- ・水でつぼで水をかけあうイベントがしたい
- ・ボール、ラケットetc.道具を借りれる、シェアするしくみを作る
- ・歴史を活かした観光まちあるき

みんなでランニングの練習しようよ！長久手市内駅とか開いたら、楽しそうだよ

詳しい市民が生物、植物の解説板を作って道に設置！あのひとなら出来そうだな...

お店とか自宅前で打ち水イベントをして、夏でも快適に歩こう！



4 まとめ

各グループの発表後、吉村先生から、総括をいただきました。

本日のみなさんの話の中に「とりあえずやってみよう！」が大事なキーワードとして挙がっていました。これから実験的でも良いので、ぜひ活動を実践していただきたいと思います。行政が市民のまちづくり活動を支援し、長久手にすでにある空間が、個人のやってみようを実現できる場に活用されることを期待しています。



吉村 輝彦 先生
(日本福祉大学)

今回のワークショップでいただいた意見について

本日頂いたご意見は第1回と同様、ニュースレターを作成し、参加者のみなさまに送付させていただきます。また、立地適正化計画策定(今年度策定予定)にあたり、今回のワークショップでいただいたご意見を参考に誘導施策等を定めていくこととなります。長久手市立地適正化計画の内容については、〇〇月に実施予定のパブリックコメントで、ご意見をいただければと思います。